

Title	Library and Information Science投稿規程；論文執筆要綱
Sub Title	
Author	
Publisher	三田図書館・情報学会
Publication year	2012
Jtitle	Library and information science No.67 (2012. ) ,p.91- 92
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00003152-00000067-0091">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00003152-00000067-0091</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# Library and Information Science

## 投稿規程

(2008年12月20日改訂)

- 個人会員は投稿できる。共著の場合、少なくとも著者の一人は個人会員でなければならない。
- 投稿原稿は、原著論文、短報、展望論文の3種類とし、未刊行の原稿に限る。
  - 原著論文 (original article) は、オリジナルな研究成果を完成した形で公表するもので、研究の背景に関する説明や、研究成果の意義について熟慮した考察を含むものとする。
  - 短報 (brief communication) は、完成には至っていないが一定の成果が得られたことを報告するもので、研究の背景や研究成果の意義について詳しい説明を含んでいなくてもよい。調査データを中心とするもの、アイデアを中心とするもの、関連研究の批判的検討などさまざまなものが考えられる。
  - 展望論文 (review article) は、特定の領域・テーマに関する文献を網羅的に概観し、最新の研究動向を一定の観点から整理したものである。いずれの種別にも字数制限はない。原稿は随時受け付けている。
- 投稿方法
  - 投稿原稿には以下のものを含めることとする。
    - 標題紙, b) 要旨 (和・英), c) 目次, d) 本文, e) 注・引用文献, f) 図・表等それぞれの記載方法は論文執筆要綱を参考にすること。なお標題紙とは別に著者 (複数の場合は代表者) の連絡先の住所とメールアドレスを投稿の際のメールに明記すること。これらは編集作業にのみ使用する。
  - Word もしくは PDF ファイルを送付すること。
- 投稿先
  - 上記 a)~f) をまとめて一つのファイルにするかもしくは f) 図・表等とそれ以外の計二つのファイルにするかいずれかを選択して投稿すること。
- 投稿先
  - Library and Information Science 事務局  
メールアドレス: lis-edit@ml.keio.jp
  - 投稿は原則としてメールでのみ受け付ける。容量オーバーなどの理由でメールで送れない場合は電子媒体を以下に郵送すること。なお投稿した旨を併せて上記メールアドレスにも連絡すること。
  - 送付先: 〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45  
慶應義塾大学文学部図書館・情報学専攻内  
Library and Information Science 事務局
  - なお投稿原稿は返却しない。
- 投稿論文の掲載は、査読者 (原著論文 2 名, 短報・展望論文 1 名) の査読結果に基づき、編集委員会が決定する。投稿原稿が事務局に到着した日を受付日とし、編集委員会で掲載を許諾した日を受理日とする。査読結果によっては修正原稿を求める場合がある。修正原稿の書式は最初の投稿と同様に規定 3 に従う。
- 掲載決定後に最終稿を事務局宛に提出する場合には、メールでのファイル送付に加えて、プリントアウト 3 部を事務局宛に郵送すること (送付先は規定 4 参照)。なお、その後、事務局で形式等を確認し、再度の提出を求めることがある。
- 論文の著作権は三田図書館・情報学会に帰属する。著作権譲渡同意書については規定の書式を準備している。詳細に関しては事務局に問い合わせること。

## 論文執筆要綱

(2008年12月20日改訂)

- 原稿書式
  - A4 判, 横書きとする。
  - 横 40 字, 縦 40 行とする。
  - 図, 表, 写真は, 原則として一件 1 枚とする。
- 論文の構成

論文は, a) 標題紙, b) 要旨 (和・英), c) 目次, d) 本文, e) 注・引用文献, f) 図・表等からなるものとする。

a) 標題紙 1 枚の用紙に, 以下 6 項目を記載する。

  - 投稿論文種別 (和)
  - 標題 (和・英)
  - 執筆者名 (和・英)
  - 所属機関 (和・英)
  - 住所 (和・英) (記載は任意)
  - メールアドレス (記載は任意)
- 上記 (1)~(6) の情報は冊子体と電子版の雑誌にそのまま記載される。
- 要旨 当該論文の要旨を【目的】【方法】【結果】(Purpose, Methods, Results) に分けて, 和文は総文字数 800 字以内, 英文は 250 words 以内で記述する。ただし, 【方法】を独立して書きにくい場合は, 【目的】または【結果】の中に入れてもよい。また, 展望論文の場合は【目的】だけでもよい。英文と和文で内容が異なるように留意すること。
- 目次 本文の章・節名のリストを作成する。
- 本文 章, 節, 項などのたて方は, 次の順序によることを原則とする。なお, 章の見出しはページの中央に, 節以下は左づめとする。
  - ……………章 (前後 1 行をあける)
  - A……………節 (前 1 行をあける)
  - 1……………項 (前 1 行をあける)

- a. ……………目
- e) 注・引用文献 一括して、本文の後にページを改めて、注・引用番号の順に列挙する。
- f) 図・表 注・引用文献の後に別途まとめる。

### 3. 文章・表記など

- a) 文章 文章は原則として常用漢字と現代かなづかいを用いる。
- b) 記号 以下の記号は、特定の用法で用いる。  
( ) ……説明・その他付加的に記述する事柄  
“ ” ……引用箇所の表示
- c) 書名 文中における欧文の書名・誌（紙）名にはアンダーラインを付し、イタリック体であることを示す。邦文書名・誌（紙）名は『 』で囲んで示す。
- d) 表 表はその上部に 第○表 と標記し、標題を添える。
- e) 図、写真 図や写真は、その下部に 第○図、写真○ などと標記し標題を添える。
- f) 注記 表、図、写真に注記の必要があるときには、肩付き番号 1, 2 ……として図・表等の下部に付記する。なお、他の資料によるものはその出典を明記する。
- g) 挿入箇所 表、図、写真の挿入箇所は改行して【 】で明記する。  
本文……………

#### 【第1表】

- 本文……………
- h) 本文の始まりから注・引用文献の終わりまで、連続のページ付を行い、原稿の下部にノンプルを付与する（標題紙からの一連番号になってもよい）。

### 4. 引用

- (1) 他の文献から引用した場合は、必ず引用符“ ”を用い、かつ末尾の右肩に半カッコに入れた一連番号をつける。  
例：“情報とは相互作用のある物体の間のつながりの客観的内容と定義することができよう”<sup>1)</sup>。
- (2) なお、引用文が長く、独立した段落として表示する必要があるときは、その前後に各1行の空白行をお

き、かつその行の左端の2字分を全体にわたって空白とする。

例：

(1行空白)

科学情報は、認識過程で得られた論理的情報であり、宇宙の客観的な法則を的確に反映し、そして歴史的・社会的実践において用いられるものである。この定義はわれわれが最も基本的なものだと考える四つの条件に言及している。

(1行空白)

- (3) 引用箇所を特に示す必要がある場合には、本文において引用番号に続けて、該当ページを角カッコに囲って指定する。

例：“…とは根本的に異なるのである”<sup>15)</sup> [p. 53]

- (4) 引用文献には一連番号を与え、本文中で同一文献を二度以上引用する場合には、既出の番号を用いる。(op. cit., ibid., 前掲は使用しない)
- (5) 引用文献の記載方法は『科学技術情報流通技術基準』の「SIST02 参照文献の書き方(2007年版)」に準拠する。
- (6) 以下に代表的な場合を例示する。より詳しい例示に関しては、三田図書館・情報学会の学会誌のページにある「引用文献記載例」を参照すること。

例：

[雑誌論文]

- 1) 根本彰. 図書館学の基礎概念としての書誌コントロール. 図書館学会年報. 1985, vol. 31, no. 3, p. 110-121.
- 2) Belkin, N.; Croft, W. Retrieval techniques. Annual Review of Information Science and Technology. 1987, vol. 22, p. 109-145.

[単行書]

- 3) Price, D. J. de Solla. リトルサイエンス・ビッグサイエンス：科学の科学・科学情報. 島尾永康訳. 創元社, 1970, 224 p.

[論文集の中の論文]

- 4) Machlup, F. "Semantic quirks in studies of information". The Study of Information: Interdisciplinary Messages. Machlup, F.; Mansfield, U., eds. John Wiley, 1983, p. 641-671.